

「1970 年代の韓国農村集落と住居」

韓国の1970年代は農漁村で展開された社会経済革新運動である「セマウル運動」が行われたが、その前に早稲田大学と韓国漢陽大学と共同研究で韓国集落の調査が行われた。その当時の調査研究報告書をもとに3人の対談形式で進行する。主な内容は1970年代の韓国農村、山村、漁村、伝統茅葺民家・集落、最小限住宅になる。

- 日 時：2018年9月29日（土）15：00～17：00
- 講師：寺門征男（前千葉大学） 大平茂男（伝統技法研究会）、
朴賛弼（法政大学）
- 会 場：法政大学市谷田町校舎 4 階 T411 教室
- 参加費：500 円（学生無料）



※この案内をメールで受け取ることが可能でしたらアドレスを mukuri_d@yahoo.co.jp 宛にご送信いただけましたら幸いです。事務作業と費用の面で大変助かります。金田

第86回研究会 2018年9月29日（土）15時～

テーマ：「1970年代の韓国農村集落と住居」

発表者：寺門征男、大平茂男、朴賛弼

会場：法政大学デザイン工学部

研究会担当：金田正夫、桑野進

・参加費：500円（学生無料）

1970年代の韓国農村集落と住居

本研究会は1970年代の韓国集落についての内容である。韓国の1970年代は農漁村で展開された社会経済革新運動である「セマウル運動」が行われた時代であった。この韓国伝統集落が変わろうという時代の前に早稲田大学と韓国漢陽大学と共同研究で韓国集落の調査が行われた。本研究会では当時の調査研究報告書をもとに3人で、対談形式で進行する。

調査報告書には当時の韓国のこじんまりした伝統集落や民家などがよく調べて記録しており、今はその風景はない。本研究会で紹介する資料は貴重であり、日本の集落との比較も大変興味深い。ご研究会で紹介する内容は1970年代の韓国農村、山村、漁村、そして、伝統茅葺民家、最小限の住宅である。また、伝統民具、お寺、セマウル運動の前に変わった改良住宅、街並みなど盛り沢山ある。

図ー65 道昌里集落景観スケッチ

